

令和3年5月31日開催

第108回近畿ブロック知事会議(京都府開催)における西脇知事発言

○ 開会挨拶

- ・ 皆様、本日はお忙しいところ、第108回近畿ブロック知事会議に御参加いただきまして、誠にありがとうございます。本来であれば、三重県の鈴木知事のところで会議を開催する予定でしたが、残念ながらWeb開催となっております。よろしくお願ひしたいと思ひます。
- ・ まずは、府県民の命と健康を守るために昼夜を問わず御尽力をいただいております医療従事者の皆様に改めて感謝を申し上げたいと思ひます。また、大阪府・兵庫県・京都府では4月25日から「緊急事態措置」を、また三重県では5月9日から「まん延防止等重点措置」を実施しており、その他の県でも飲食店に対する営業時間短縮要請などの措置を独自に講じられております。この間の府県民・事業者の皆様の御協力によりまして、感染者数は減少傾向にあるものの、依然として多くの新規感染者が出ており、また医療現場は予断を許さない状況が続いております。
- ・ そうしたことから、5月28日の政府対策本部におきまして、「全国の新規感染者数は減少に転じているが、依然として予断を許さない」という認識の下で、「緊急事態宣言」、「まん延防止等重点措置」の6月20日までの延長が決定されたところでございます。府県民・事業者の皆様には引き続き、多大な御負担をおかけすることになりますが、今は感染拡大を抑え込み、リバウンドを招かないための非常に重要な時期でもございます。引き続き、御理解と御協力を賜りますようお願いしたいと思ひます。また、各地で確認されておりますインド株などの新たな変異株の封じ込めも含めまして、従来の枠組みを超えた強力な対策を講じることが必要であると認識しております。
- ・ 近畿ブロック知事会といたしましても、新たな変異株を含めた感染を封じ込めるための「検査及び積極的疫学調査の徹底」や「医療提供体制の確保」、感染収束の切り札であります「ワクチン接種の推進」、医療提供体制に負荷をかけないための「感染防止の呼びかけ」などに全力を挙げますとともに、水際対策の強化などの「今後の感染拡大防止対策」、影響が長期化しております「事業者支援・雇用対策」、孤独・孤立対策など「誰ひとり取り残されない社会づくり」、地方創生臨時交付金のさらなる増額など「地方財政の支援」など、必要な対策につきまして、緊急提言を取りまとめ、国に対して要請を行ってまいりたいと考えております。
- ・ また、「脱炭素社会の実現」、「こども庁の創設」、「デジタル化」など、5月25日に示されました、政府の「骨太方針」の骨子案にも盛り込まれた重要なテーマにつきましても、本日協議を行いまして、必要な対策を国に求めてまいりたいと考えております。

○ 国への提案要望

I 新型コロナウイルス感染症関連【提言のとりまとめ】

- 整理をさせていただきますと、まずは5月29日の全国知事会の緊急対策本部会議で皆さんから発言があって、その後、緊急提言に反映された部分につきましては、同様の趣旨を本日の緊急提言に含めたいと思います。
- 例えば、杉本福井県知事から発言のありましたJRへの支援ですとか、鈴木三重県知事から発言のありました都道府県域を超えた接種、三日月滋賀県知事から発言のありました65歳未満の方の施設入所者への優先接種、これらは全国知事会の緊急提言には盛り込まれておりますので、この提言に盛り込みたいと思います。
- それから、井戸兵庫県知事からワクチンにつきまして、接種券に頼らないワクチン接種というものがございました。これは全国知事会の緊急提言にも、今回の緊急提言にも入っておりませんが、その趣旨を踏まえた修正をさせていただきたいと思います。また、荒井奈良県知事からは同期というか、各府県の関連性の分析をいただきまして誠にありがとうございました。まさに鉄道沿線に沿ってというのは、特に京都府南部でも痛感しているところございまして、荒井奈良県知事の分析も今後の感染対策には是非とも活かしていくべきだと強く感じたところございまして。
- 平井鳥取県知事からは近畿ブロックの方でインド株対策を先進的に行うべきだとありましたし、あと関西広域連合の対策本部での議論も踏まえた形で、様々な提言をいただきました。確かにワクチンが本当に足りるのかというのは、いろんなところから声がありまして、どんどん一般接種の話になってきていますが、この緊急提言の中にある具体的な供給スケジュールと具体的な供給量が示されないというのは、市町村からもたくさん声が出ております。この点につきましては、是非とも強く訴えるべきだと考えております。
- 最後に、飯泉徳島県知事から、国と地方の協議の場で、今日の議論を踏まえたお話をさせていただけるということで、大変力強く思っております。特にワクチンにつきましては、今後、一般接種が広がっていくと様々な課題がございます。本日出た話もできる限り緊急提言の中に盛り込んでまいりたいと思います。
- この後、5月29日の全国知事会での意見等も含めまして文言修正させていただき、また皆さんに相談させていただきたいと思います。最終的な文言修正の結論につきましては、私に一任いただければありがたいですが、いかがでしょうか。
- (全員賛同) どうもありがとうございます。ではそのようにさせていただきます。

○ 記者会見

<記者（京都新聞）>

- ・ 本日議論された新型コロナウイルス緊急提言の今後の取扱いと特に政府に訴えたいポイントは。

<西協会長（京都府知事）>

- ・ 通常であればその他の要望項目も含めて事務方で調整し、整い次第早急に要請することとしています。普通であれば上京してということなのですが、緊急事態宣言の発令中でもございますので、東京事務所を経由して関係各省庁に要望するという段取りを今のところ設定しております。
- ・ 中身でございますけれども、特に重要な内容は、第4波で英国型の変異株が非常に猛威をふるって、それが従来型よりも感染力が強く広がったということで、今インド株等の新たな変異株が感染拡大をしないように徹底的に封じ込めるということがまず重要だということです。明日からまさに緊急事態措置、まん延防止等重点措置が延長されるということなので、再拡大、リバウンドを招かないために徹底して感染抑制をしていく措置を実施するということです。
- ・ それから、今回、仁坂和歌山県知事の方から提案がありましたけれども、今の仕組みというのは国が基本的対処方針を決めて、その枠内でということなのですが、全国からもう少し自由と言いますか、しかも財源の措置が必要になってきますので、地域の実情に応じて、より効果的かつ大胆な措置が迅速にとれるように運用を見直していただきたい、これが今回特に大きなポイントではないかと思っております。
- ・ いずれにしても、コンパクトにはしておりますが、趣旨としては5月29日の全国知事会の緊急提言に沿ったものということです。

(以上)